

地方創生推進交付金 効果検証シート

交付金名	紀の川フルーツエクスポート推進事業		担当課	農林振興課	検証日	平成30年6月1日
事業目的	農政の本質的課題である「農業者の所得拡大」を実現するために、継続的に世界市場のトレンドを的確に捉え、本市の地域資源であるフルーツを積極的に輸出し、利益を常に意識した「攻めの農業」への構造改革を進める。					
財源 (千円)	当初予算額	補正額	決算額	執行率	主な支出(千円)	
	国費	2,445	0	1,848	75.6%	農産物販売促進事業(4,721千円)
	県費	0	0	0	0	
	市費	2,445	0	2,873	117.5%	
事業費	4,890	0	4,721			

PLAN【計画】

計画概要	<p>■紀の川フルーツエクスポート推進事業</p> <p>地方創生加速化交付金事業である、「ローカルブランディング紀の川市」のアンケート調査より、「台湾」「香港」が食頻度が高く、好きなフルーツの上位は「桃」「いちご」「キウイフルーツ」となっているため、「台湾」「香港」へフルーツの輸出を拡大するために、現地商談会を開催する。</p>
------	--

DO【実行】

実施結果	<p>■紀の川フルーツエクスポート推進事業</p> <p>i) スキルアップセミナーとして「出展者説明会」「ネゴシエーションセミナー」を実施。</p> <p>ii) 「台湾」「香港」で現地商談会を開催。</p> <p>商談会① 開催場所：台湾 開催日：平成29年9月12日～9月13日 参加企業：3社、対象フルーツ：桃 商談回数：33商談、商談成立数：0件</p> <p>商談会② 開催場所：香港 開催日：平成30年1月23日～24日 参加企業：3社、対象フルーツ：キウイフルーツ 商談回数：28商談、商談成立件数：2件</p>
------	--

CHECK【検証】

指標	単位	総合戦略	実績値			目標値	最終目標値
		H26	H28	H29	H30	H31	
本事業の K P I	台湾・香港への輸出額	千円		115,945	109,432	118,275	119,457
	小売業者との契約締結件数(累計)	件		0	2	6	9
	フルーツの栽培を開始した新規就農者数(累計)	人	25	10	13	42	45
総合戦略の 数値目標	認定農業者数	人	330	329	314	339	343
	新規就農者数	人/年	31	21	24	41	45
市(担当課・推進本部)		審議会					
課題	<p>契約締結数はH29年度では2件だが、契約締結に向け、継続的に協議を行っている。</p> <p>現状は台湾・香港への輸出額増加へはつながっていないが、契約締結等の成果は出てきているので、継続的に進んでいく必要があると考える。</p>	課題	<p>事業初年度であったが、紀の川市産フルーツに対する宣伝効果は見受けられた。取組を継続し、販路を拡大することにより、長期的には農業者の所得が向上すると考えられるため、フルーツの種類拡大や他事業との連携を模索し、農業者所得の更なる向上を推進していただきたい。</p>				

ACTION【改善】

市(担当課・推進本部)		審議会	
改善案	<p>昨年度は台湾(桃)、香港(キウイ)だったため、今年度は台湾(キウイ)、香港(桃)の商談会を実施する。また、紀の川市産フルーツの知名度向上のため、航空会社・製菓会社と共同でフルーツを使用した製菓を作製し、インバウンド観光客等へ訴求する。</p>	改善案	<p>事業計画では、来年度eコマースのテスト販売を行うことになっている。eコマースについては、ニーズ調査が重要になってくるため、事前準備を早めに行い、商圏にあったフルーツの提供をできるようにしていただきたい。</p>

議会	報告日	平成 年 月 日
----	-----	----------

地方創生推進交付金 効果検証シート

交付金名	紀の川フルーツ・ツーリズムビューロー推進による地域ブランド強化事業		担当課	地域創生課、観光振興課	検証日	平成30年6月1日
事業目的	「シティプロモーション戦略」に基づき、市の認知度向上を図ると同時に、地域の観光の中核を担う「紀の川市版DMO」を設立し、一体的なプロモーションにより、交流人口の増加及び移住・定住人口の増加を図る。					
財源 (千円)	当初予算額	補正額	決算額	執行率	主な支出(千円)	
	国費	22,128	0	17,950	81.1%	広報広聴事業(14,494千円)
	県費	0	0	0	0	観光交流創造事業(29,057千円)
	市費	22,128	0	25,601	115.7%	
事業費	44,256	0	43,551			

PLAN【計画】

計画概要	地方創生加速化交付金対象事業である、「『フルーツ』」を核とした紀の川市シティプロモーション戦略推進事業において、策定したシティプロモーション戦略に基づき事業を実施し、市の認知度を向上させる。また、地域観光の推進を主体的かつ中核を担う組織として「紀の川市版DMO」を設立し、継続的に稼ぐ観光産業を創出する。
------	--

DO【実行】

実施結果	<p>■シティプロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> i) プレスリリースセミナー、情報拡散セミナー、地域資源再発掘ツアーを開催 ii) 女子会ワークショップを開催し、シティプロモーション物品を作成 iii) オンラインワントレイン（南海電鉄）でポスター掲示 iv) トラベルガールズフェスタ2017へ出展 v) コンセプトブックの作成 <p>■DMO設立準備</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 設立準備委員会、設立準備ワークショップを開催 ii) 観光動向等の調査、観光資源調査を実施 iii) モニタリングツアーを開催 iv) 支援セミナー（旅行商品づくり勉強会）等を開催 vi) DMOが使用する拠点の整備（貴志駅前）（完成は今年度予定）
------	--

CHECK【検証】

指標	単位	総合戦略	実績値			目標値	最終目標値	
		H26	H28	H29	H30	H31		
本事業の K P I	観光人口【観光客入り込み客数】	千人	1,880	1,790	1,670	2,060	2,220	
	新たな観光ルートの構築件数（累計）	件		0	0	2	5	
	交流拠点利用者数（累計）	人		0	0	30,000	110,000	
総合戦略の 数値目標	社会増加数	人	▲ 176	▲ 394	▲ 346	▲ 36	0	
	観光人口	千人	1,880	1,790	1,670	2,040	2,200	
市（担当課・推進本部）		審議会						
課題	シティプロモーションについては、知名度向上だけではなく、移住定住に直接つながる取組が必要かの検討を行う必要がある。DMO整備については、拠点建設予定地の弱い地盤への対応により建設が遅れ、拠点の開設が予定より遅延した。		課題					DMOについては、資金繰りや利益が発生する仕組みを検討しながら、設立を行っていただきたい。また、様々な事業に波及するようにシティプロモーションと積極的な連携を図り、市民と協働でお互いにフィードバックできる取組を進めていただきたい。

ACTION【改善】

市（担当課・推進本部）		審議会	
改善案	DMOの法人設立を予定している9月と同時期に拠点を開設し、観光客の誘客と地域活性化を推進する。 また、更なる知名度向上を目指し、メディアキャラバンや動画作成等を新たに取り組む。	改善案	紀の川市の重要な地域資源である「フルーツ」を継続的な資源とし、観光やプロモーションに活用するためには、農業の活性化が重要になってくるため、農業の活性化への波及効果生まれる仕組みも検討していただきたい。 京奈和自動車道の開通による、関空へのアクセス向上が強みでもあるので、より紀北地域に観光客が来るように、他のフルーツを強みとしている団体などとの連携の検討も必要である。